

分担研究報告書

外部委託マネジメントチェックリストの開発

研究分担者 鳩野 洋子

外部委託マネジメントチェックリストの開発

研究分担者 鳩野 洋子 九州大学大学院医学研究院保健学部門 教授

研究要旨:

質の高い外部委託を行うために、委託元である自治体の保健師等の保健医療専門職が行うべきマネジメント項目を整理することを目的とした。

開発にあたっては、3段階の手順を踏んだ。平成 25 年度の第一段階、第二段階を経て修正した項目に関して、本年度は第三段階として、修正した項目と、研究班で整理したそのことを実施するねらいとその理由に関する意見を問うグループインタビューを実施した。インタビュー結果に基づき、再度修正を行い、最終的に委託の検討する時間軸を考慮し、【委託の検討および決定】7項目、【委託方法・委託先の検討】6項目、【仕様書・契約書の作成】3項目、【契約締結から事業開始までの委託先との調整】4項目、【契約締結から事業開始までの自治体内での準備】3項目、【委託事業者によるサービス提供期のモニタリング】4項目、【委託事業者によるサービス提供終了時の評価】6項目、【体制】5項目からなるチェックリストを作成した。

チェックリストは、その作成プロセスから一定の内容妥当性を有していると考えられた。今後は本チェックリストの活用が委託事業のアウトカムに寄与するかの検証、および保健専門職への普及が課題である。

研究協力者

- | | |
|--------|-------------------------|
| 森 晃爾 | (産業医科大学産業生態科学研究所 教授) |
| 曾根 智史 | (国立保健医療科学院 企画調整主幹) |
| 永田 昌子 | (産業医科大学産業医実務研修センター 助教) |
| 前野 有佳里 | (九州大学医学研究院保健学部門 講師) |
| 柴田 喜幸 | (産業医科大学産業医実務研修センター 准教授) |
| 小橋 正樹 | (産業医科大学産業医実務研修センター 修練医) |

A . 目的

市町村が提供する保健事業は租税により提供されており、外部委託であってもその提供の責任は自治体にあるため、その提供プロセスの管理を行う能力が自治体に求められている¹⁾。

しかし、保健医療専門職は、基礎教育において直接的なサービス提供方法に関する教育は受けているが、外部委託のマネジメントに関する教育は全く受けていない。

いくつかの市町村では外部委託事業に関して意識的な質の管理を実施している状況もあるが²⁾、多くの市町村では保健医療専門職が質の高い委託方法を模索しつつ、外部委託を実施している状況が想定される。しかし、この状況は住民に対し質の高い保健サービスを提供し、住民の健康の維持・向上に寄与するという市町村の保健サービスの基本的な目的を果たす上で、望ましい状況ではない。

そこで本研究では、質の高い外部託託を行うために委託元である自治体の保健医療専門職が実施すべき事項を明らかにしてそれが広く活用されるよう、チェックリストとして整理することを目的とし、平成 25 年度から項目の抽出を行ってきた。本年度は昨年度作成した案をより精練し、項目を確定することを目的として研究を行った。

B . 方法

調査方法

グループインタビュー

調査対象・内容

調査対象者は本研究における平成 25 年度、26 年度に外部委託の良好実践事例としてヒアリングを行った自治体対象者 4 名、過去、自治体に所属していた際に外部委託を行った経験を有する有識者 1 名、計 5 名である。

参加者にはマネジメント項目と、それぞれの項目のねらいとなぜそれを実施する必要があるのかを記載したものを事前に送付した上で、グループインタビューに参加してもらった。

インタビューでは、

- ・項目の可不足
- ・項目の構成
- ・記載事項の内容や表現

に関して、自由に意見を語ってもらった。

分析方法

書き起こした逐語録から、修正が必要と言われた点に関して抽出し、意見に対して研究班内で検討し、修正した。

倫理的配慮

インタビューは、産業医科大学倫理審査委員会の承認を受けて実施した。インタビューにあたっては研究目的、個人情報保護の方法、研究の中断の権利、研究の公表の方法について、口頭で説明を行うとともに、承諾書へのサインを得た。

C . 結果

以下のような、様々なコメントが得られた。

- ・ターゲットの明確化 委託になれていない保健師をターゲットにしたほうがよい
- ・語尾が過去形である
チェックリストであるなら、現在形にする
- ・不足している項目がある
- ・計画段階の項目が多すぎる
関連する項目ごとにわけてはどうか
- ・項目の混在
実際に行うことと、仕様書等に盛り込まれるべき事項が混在している
- ・保健師と専門職のかき分け
どこをねらってかき分けているのか
- ・項目の移動
体制等へ移したほうがよいと思われる項目等がある
これらの意見にもとづき、対象は委託に慣れていない人が読むことを想定すること、過去形を現在形に変更、項目の加除や削除を行う、計画段階の項目を細かく分ける、保健師や専門職の表現は保健医療専門職に統一する、項目を並べる順序やグループ化を再検討すること等を行い、最終的に8カテゴリ38項目から成るチェックリストを整理した(表1)。

D. 考察

今回、質の高い委託を行うためのマネジメントのためのチェックリストを開発した。チェックリストは、3段階の手順を経て作成していることから、一定の内容妥当性を有している

考えられる。ただし、妥当性をより高めるためには、保健医療専門職に試用してもらい、このチェックリストの活用が、委託事業のアウトカムにつながるのかの検討が必要である。

このように妥当性の確認にはまだ課題はあるが、保健事業の委託は広く行われているにもかかわらず、マネジメントの展開方法を具体的に示したものがなかったことを考えると、本チェックリストの開発は、委託事業の質の確保の上で意義を有すると考えられる。今後は本チェックリストの保健医療従事者への周知が課題である。

E. 結論

- 1 38項目からなる質の高い委託を行うためのマネジメントチェックリストを開発した。
- 2 本チェックリストは、一定の内容妥当性を有していると考えられた。
- 3 今後は、本チェックリストが保健医療従事者に広く周知されることが望まれる。

F. 引用文献

- 1) 厚生労働省:地域における保健師の保健活動に関する検討会.平成24年度地域保健総合推進事業 地域における保健師の保健活動に関する検討会報告書,2013.
- 2)清水京子、大谷直美、西原睦子、他:母子保健業務の委託の実際:保健師ジャーナル,61(10)918-923,2005.
- 3)日本看護協会.地域保健サービス提供体制に関する報告書」(平成16年

度 地域保健サービス提供体制に
関する検討小委員会 2005

G . 研究発表

・鳩野洋子、森晃爾、曾根智史、前野
有佳里.保健事業外部委託のマネジメ
ントと保健師の役割 . 第3回日本公
衆衛生看護学会ワークショップ.2015
年1月11日.